

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
1	1 児童虐待対策について	<p style="text-align: center;">11番 荒川 洋平</p> <p>(1)本市の過去5年の児童虐待の発生件数を伺う。 (2)発生要因とそのケースをどう捉えているか伺う。 (3)平成28年の児童福祉法等の一部を改正する法律の施行に伴い、令和3年度より子ども家庭総合支援拠点を設置し対応しているが、体制について伺う。 (4)子ども家庭総合支援拠点の取組と事案発生時の対応は。また、その中で関係機関、団体との連携は現状どのようなになっているか伺う。 (5)所管部署、名称が変わっても大切なのはその取組だと考える。児童虐待の未然防止、早期発見のため、相談体制のさらなる充実など、早急に体制強化を図るべき。 (6)児童虐待を含め、子供と家庭に関する総合相談窓口となる、こども家庭センターの設置が国から示されているが、児童虐待の包括的な支援のために本市がどのような体制、スケジュールで取組を進めるべきか検討すべき。</p>	市長 市長 市長 市長 市長 市長	
2	<p>1 デジタル地域通貨の導入について</p> <p>2 小山雨水調整池の整備について</p> <p>3 市長による模造銃所持画像のSNS投稿について</p>	<p style="text-align: center;">10番 吉田 良</p> <p>(1)デジタル地域通貨を導入することについて、検討の経緯や内容を伺う。 (2)デジタル地域通貨を導入することによる利点と課題をどのように捉えているのか。 (3)ボランティアや地域活動などコミュニティ活動への参加促進に重点を置いたデジタル地域通貨制度を導入すべき。</p> <p>(1)館腰承水路付近の浸水対策全体の進捗状況と今後のスケジュールについて伺う。 (2)第一中学校南側に整備が予定されている小山雨水調整池について、施設概要と完成までのスケジュールを伺う。 (3)整備による効果を住民に説明する機会を設けるとともに、少しでも早い完成を目指すべき。</p> <p>(1)令和4年11月22日付河北新報朝刊に、ふるさと名取秋まつりにおける自衛隊の展示場所で、市長が模造銃を構える写真をSNSに投稿した事実が掲載された。撮影から投稿に至る経緯、その後の対応の詳細を伺う。 (2)外部から本市に寄せられた意見を全て伺う。 (3)今後も自衛隊による展示が適切に続けられるよう、混乱を招いたことに対して責任ある態度を示すとともに、不安をもたらさないよう説明に努めるべき。</p>	市長 市長 市長 市長 市長 市長 市長 市長	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
3	<p>1 市道三日町熊野堂線の歩道拡幅整備について</p> <p>2 児童生徒の交通事故防止対策について</p>	<p style="text-align: right;">15番 長南 良彦</p> <p>(1) 高館交番前から市道熊野堂柳生線の交差点までは片側しか歩道がない上、幅も狭く通行者にとって大変危険である。現状をどのように捉えているか。</p> <p>(2) 車両等との接触事故防止対策として、歩車道境界部にガードパイプを設置すべき。</p> <p>(3) 歩道西側の既存のガードパイプを撤去し、通行者の安全確保のため歩道を拡幅すべき。</p> <p>(4) 歩道の亀裂補修と雨水排水対策を早急に実施し、通行者の安全確保に努めるべき。</p> <p>(1) 本市における過去3か年の児童生徒が関わる交通事故の発生件数、病院搬送件数及び事故原因について伺う。</p> <p>(2) 交通事故発生を受け、発生現場上に実施した再発防止対策の事例を伺う。</p> <p>(3) 各小学校区に結成された子ども見守り隊の現在の登録人数と活動状況を伺う。</p> <p>(4) 市内児童生徒の交通事故発生情報を交通安全推進団体に周知するとともに連携を強化し、児童生徒のさらなる安全確保に努めるべき。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p>	
4	<p>1 本市の魅力とその発信について</p>	<p style="text-align: right;">1番 菊地 昌夫</p> <p>(1) 本市のここ数年の人口推移を踏まえ、今後の人口増減、少子高齢化について、その課題をどのように捉えているか伺う。</p> <p>(2) 本市の魅力として、自然環境や行政サービス等、定住人口の増加につながるシティセールスとしての具体的なアピールポイントについて伺う。</p> <p>(3) 定住人口の増加に向け、子育て・教育先進都市として、子育て支援や教育環境等々「なとり」に感じている魅力や利便性、アピールポイントについて、市民全体を対象にホームページやSNSを活用した「(仮称)住むなら名取、なとりの魅力アンケート」を実施し、広く声を募り、市民協働でのシティセールスに取り組むべき。</p> <p>(4) 市民協働のシティセールスと併せ、子育て・教育先進都市として、海・山の自然も含めた、子育て環境や制度の優位性、生活の利便性を前提に、定住人口の増加を目的としたシティセールスのため、民間委託も積極的に活用すべき。</p> <p>(5) 市民のためにとの思いで、市民サービスに懸命に取り組むそれぞれの部署における職員の姿勢と熱い思いこそ、本市の何よりの魅力と位置づけ、広報やポスター、そのほか様々な機会に、シティセールスの一環としてアピールすべき。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p>	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
5	<p>1 カナダ国への謝辞について</p> <p>2 インバウンド（訪日外国人旅行）誘客の推進について</p> <p>3 外国企業の誘致について</p> <p>4 国際交流の推進について</p>	<p style="text-align: right;">2番 熊谷 克彦</p> <p>(1) 令和5年5月、仙台市で先進7か国首脳会議科学技術大臣会合が開催されるが、カナダ国同大臣に本市訪問を要請し、東日本大震災からの復旧・復興状況及び防災の取組について報告し、感謝の意を伝えるべき。</p> <p>(1) インバウンド誘客の取組状況について伺う。 (2) 文化・歴史・防災・観光等の資源について、インバウンド誘客に応えられるよう表記・通訳等の環境を整え、情報発信すべき。 (3) インバウンド誘客に向けて関係機関・旅行会社等に働きかけ、誘客の増加を図り、地域経済を活性化すべき。</p> <p>(1) 外国企業誘致活動の取組状況について伺う。 (2) 外国企業誘致に向けて関係機関等に働きかけるべき。</p> <p>(1) 中学生海外派遣事業等、交流を重ねてきたカナダ国スーク市と姉妹都市を締結すべき。 (2) 仙台空港発着の国際定期便に関わる市等に赴き対面交流を重ね、地域経済の活性化を図るべき。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長 市 長</p> <p>市 長 市 長</p> <p>市 長 市 長</p>	
6	<p>1 郷土に誇りを持たせるための教材の掘り起こしについて</p> <p>2 市民墓地公園の樹木の管理について</p>	<p style="text-align: right;">19番 山田 龍太郎</p> <p>(1) 名取をつくった人々の歴史について、本市独自の歴史本「現代史」「近代史」として編集し、学校教材の副読本として生かすべき。</p> <p>(1) 樹木の植栽工事が完了して2年が経過しようとしている。順調に活着し育っている樹木の中に、立ち枯れてしまった樹木がところどころ見受けられるようになった。対策は考えているのか伺う。 (2) 特に枯れた樹木の種類は落葉樹がほぼ100%で、樹種はケヤキ・コブシ・キンモクセイ・ユリノキ等に集中している。市民墓地設計の段階で墓地の場所の地形・気候・風土いわゆる自然条件を考慮し、樹種の選定を行うべきであったと思われるが見解を伺う。 (3) 市民墓地公園の西側、中央入口から管理棟へ向かっていくメインロードの両側はユリノキの並木となっている。順調に育てばすばらしい景観になることは間違いなかったと思われるが、23本中20本が枯れてしまった。早急に樹種の変更も考えながら植え替えをして、メインロードの形を整えるべき。</p>	<p>教育長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p>	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求 め る 者	備 考
7	<p>1 女性の健康について</p> <p>2 出産・子育て応援交付金事業について</p>	<p style="text-align: right;">9 番 菅原 和子</p> <p>(1) 子宮頸がん予防ワクチンの積極的勧奨再開に当たり、定期接種対象者とキャッチアップ対象者への周知はいつどのように行ったのか伺う。</p> <p>(2) 今年度直近までの定期接種対象者とキャッチアップ対象者の接種率について伺う。</p> <p>(3) 厚生労働省では9価HPVワクチンを令和5年4月より定期接種とする方針を決めた。定期接種の対象者へ適切な周知ができるよう、準備を進めるべき。</p> <p>(4) 愛知県犬山市では、自分で子宮頸がんのリスクを調べられる検査キットを希望者に配付する取組を始めた。本市でも取り組むべき。</p> <p>(5) 乳がんで全摘手術をした方の経済的負担の軽減を図るため、乳房補正具の購入費を助成すべき。</p> <p>(1) 国では妊娠期から出産、子育てまで一貫して、様々なニーズに即した必要な支援につなぐ伴走型の相談支援と経済的支援を一体として実施する事業を支援する交付金を創設する。本市でも実施すべき。</p> <p>(2) 妊娠期の経済的支援に当たっては、より幅広く利用できる現金で給付すべき。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p>	
8	<p>1 健康保険証とマイナンバーカードの一体化について</p> <p>2 ふるさと名取秋まつりにおける自衛隊の機動戦闘車の展示と、市長が銃を携行した写真をSNSに投稿した件について</p>	<p style="text-align: right;">16 番 小野寺 美穂</p> <p>(1) 現時点における認識と見解について伺う。</p> <p>(2) 便利になるどころか不便になる一体化に異議を唱えるべき。</p> <p>(1) 市民団体が抗議文を提出した際、市は、戦闘車の展示はやめると回答したのに対し、後日の記者会見では、問題だとは思っていないと発言した。発言内容の不一致について伺う。</p> <p>(2) 市長は、装備品の展示は自衛隊の活動を知る一端となると述べているようである。明らかに戦争に使用するものを、子供も含めた市民の集まる催しに展示することが、自衛隊の活動を知る一端となるというならば、自衛隊の活動イコール戦争行為という認識か伺う。</p> <p>(3) 市長自身が銃を携行している写真をSNSに投稿していたが、たとえ模造銃であっても手に持つこと自体が問題であるという認識はなかったということか伺う。</p> <p>(4) ウクライナ情勢によらず大変重大な問題である。猛省をすべき。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p>	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
9	1 P F A S フッ素化合物汚 染について	<p style="text-align: right;">7番 大久保 主計</p> <p>(1)令和2年度有機フッ素化合物全国存在状況把握調査結果では、本市において全国調査箇所中5番目に高い数値であった。この結果をどう捉え、対応したのか伺う。</p> <p>(2)名ク対収第235号行政文書部分開示決定通知書の開示しない理由に「調査結果から、ヒトへの健康影響について蓋然性は著しく低い」とあるが、その根拠は何か。</p> <p>(3)開示された文書には、米軍による泡消火剤の使用とあるが、いつ、どこで、どれくらいの量を、何回、どのような理由で使用したと捉えているか伺う。</p> <p>(4)排出源となりうる施設において、米軍以外の使用はあるのか。また、空港消防施設と本市消防施設における有機フッ素化合物が原料の泡消火剤の使用実績、時期と使用量、そして在庫状況と今後の取扱方針を伺う。</p> <p>(5)地下水の汚染が検出された井戸所有者への説明、聞き取り、助言の内容など暴露防止の具体的な取組について伺う。</p> <p>(6)P F A S 汚染の現状を周知して暴露防止に努めるべき。</p> <p>(7)濃度の経年的推移、帯水層の鉛直分布、汚染方向の確認など、周辺地域の地下水への影響を把握する追加調査を実施すべき。</p> <p>(8)関係住民の健康への影響、周辺の土壌や河川の汚染状況、農産物や魚介類などへの影響を確認し、安全安心を確保すべき。</p> <p>(9)P F A S 有機フッ素化合物汚染は、本市の重要な課題として国や県など関係機関と連携し、迅速で適切な対応と正確な情報を発信すべき。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長 消防長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p>	
10	<p>1 市民の健康 寿命を延ばす取 組について</p> <p>2 高齢者への 補聴器購入費助 成制度の創設に ついて</p>	<p style="text-align: right;">3番 笹森 波</p> <p>(1)健康寿命をどのように捉え、取り組んでいるのか伺う。</p> <p>(2)胃がん検診はバリウム検査のみであるが、胃内視鏡検査との選択制を導入すべき。</p> <p>(3)病気の早期発見、早期治療のためにも、国保加入者への人間ドック・脳ドック受診利用補助制度を創設すべき。</p> <p>(1)令和3年12月に高齢者補聴器購入費助成制度について一般質問を行った際、十分な調査研究をしていきたいとの答弁があったが、その後どのように調査研究してきたのか伺う。</p> <p>(2)聞こえに不安を持つ高齢者の相談窓口を設置すべき。</p> <p>(3)高齢者の生活を支援し社会参加を促進するため、高齢者補聴器購入費助成制度を導入すべき。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p>	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
1 1	<p>1 本市の知名度の向上と交流人口の増加に向けた取組について</p> <p>2 住宅リフォーム制度の創設について</p> <p>3 医療的ケア児等への支援の充実について</p>	<p style="text-align: right;">8番 齋 浩美</p> <p>(1)本市の知名度の向上と交流人口の拡大を図るために、観光大使・アンバサダーを任命し、新たな視点で取り組むべき。</p> <p>(1)住環境の改善と光熱費の軽減、家庭におけるゼロカーボンにも寄与でき、市内事業者への経済対策としても効果が見込まれる住宅リフォーム制度に取り組むべき。</p> <p>(1)医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律が、令和3年9月に施行され、自治体の支援策が責務となった。本市の認識や取組、また課題を伺う。 (2)令和5年4月に、こども家庭庁が設置される予定である。医療的ケア児への対応も大幅に変わることが想定されている。本市への影響はあるか伺う。 (3)第6期障害福祉計画・第2期障害児福祉計画は、計画期間の折り返し点を過ぎている。同計画では「医療的ケア児支援のための関係機関協議の場の設置」が設定されている。課題の整理や関係機関との連携、各種計画の取組状況の進行確認などを進める上で早急に設置すべき。また、協議の場では、宮城県医療的ケア児等相談支援センター（ちるふぁ）とも連携し、事例の研究や各種研修を実施すべき。 (4)第6期障害福祉計画・第2期障害児福祉計画では、医療的ケア児コーディネーター配置について検討することとなっている。保護者や地域づくり協議会からも、配置への強い要望が出ている。現在、整備の準備が進められている、（仮称）名取児童発達支援センターに配置し、機能の充実を図るべき。 (5)医療的ケア児は、生活介護施設などに通所する場合は、基本的に施設側の送迎ではなく保護者の送迎となっている。送迎に係る保護者への助成制度は、三重県松阪市で取り組まれている。本市でも助成制度を創設すべき。 (6)現在の若竹園では、リフレッシュ事業とレスパイト事業に取り組まれているが、看護師がいないため、医療的行為ができない。（仮称）名取児童発達支援センターには、看護師を配置し、医療的行為を含めたリフレッシュ事業とレスパイト事業の充実など、時代に合った取組を行うべき。 (7)本市では子育て支援の充実を掲げているが、医療的ケア児等への支援は不足しているとの声を聞く。要望などを丁寧に受け止めて取り組むべき。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長 教育長</p> <p>市 長 教育長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p>	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
1 2	<p>1 これからの子供・子育て支援の体制づくりについて</p> <p>2 新型コロナワクチン接種の周知について</p>	<p style="text-align: right;">1 2 番 大友 康信</p> <p>(1) こども基本法が成立した。これまで国や県から、市における体制づくりについて何らかの要請や通達、あるいは説明などがあったのか伺う。</p> <p>(2) これからは、子育て支援の窓口は一本化していくべきと考えるが、見解を伺う。</p> <p>(3) 中学校を卒業すると、行政としてできる支援があったとしても届きにくい。このような状況や課題をどのように捉え対応しているのか伺う。</p> <p>(4) 切れ目のない子供・子育て支援を実現するとともに、誰もが分かりやすいワンストップ窓口のため、幼児教育、家庭教育、子ども医療、母子保健、予防接種、児童福祉といった業務を担う「(仮称)子育て支援課」を教育委員会の中に設置する組織変更をすべき。</p> <p>(1) 乳幼児から4歳までの接種券について、希望者に送付する方法としたが、その理由について伺う。</p> <p>(2) 本市における令和4年度の接種状況と副反応について現況を伺う。</p> <p>(3) 国からの令和4年11月18日付の事務連絡の中には、児童生徒や保護者が主体的に接種の判断ができるよう、衛生部局と教育委員会が連携した周知・広報を実施することについての内容があったが、どのように取り組むのか伺う。</p> <p>(4) 職員や教職員に対して、年内にオミクロン株対応ワクチンの接種を受けるように促す働きかけはあるのか伺う。</p> <p>(5) ワクチン接種のリスクについて、全国の医療関係者や国会議員、地方議員の多くの方々が訴えている。接種回数と感染者数の推移、接種の効果と副反応、全国的な死亡者数の増大などについて、これまで公表され蓄積されているデータを調査分析すべき。</p> <p>(6) ワクチンを接種するかしないかについての判断材料が少ない。子供から高齢者まで、全ての市民の命と健康を守るため、判断材料となる客観的な資料を独自にまとめ、周知・広報すべき。</p> <p>(7) 学校や職場、医療施設や介護施設、福祉施設のほかあらゆる場所で、ワクチンを接種しない選択をした場合でも同調圧力のかからない配慮が広がるよう、取り組むべき。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長 教育長 市 長 教育長</p> <p>市 長 教育長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長 教育長 消防長 市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長 教育長 消防長</p>	